

ディボーション質問表



25 日 (日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

26 日 (月) 列王記第二 13 章

1. 2 節にはどのようなフレーズが書かれていますか？ 離れられない罪はないだろうか？
2. アラムは何回地面を叩きましたか (18 節)？ それに対してエリシャは何と言いましたか (19 節)？ 消極的な信仰はないだろうか？ 今日できる積極的な行動は何だろうか？
3. 偉大な預言者エリシャは亡くなりましたが、その後どのような奇跡がありましたか (21 節)？ この聖句は私にどのような啓示を与えてくれるだろうか？

27 日 (火) 列王記第二 14 章

アマツヤ王から何を学ぶ事ができるだろうか。

1. アマツヤはどのように自分の父を殺害した人々を裁いたでしょうか (5、6 節)？
2. アマツヤの戦い方は、どのようなものでしたか？ 戦いは神様のものであることを彼は認識していましたか (7 ~ 12 節)？ 初めの戦い(エドム人)の勝利は、今まで奪われていた港を勝ち取ることとなり、経済的繁栄をもたらすものでした。彼は自分の力を過剰評価していなかったでしょうか (9、10 節)？
3. 23 節の王はどのような人物ですか？ それに対する神様の対応はどうか (27 節)？ あわれみ深い神様に習うべき出来事はないだろうか？

28 日 (水) 列王記第二 15 章

イスラエル王国とユダ王国の状態が対比的に書かれていますが、2 国とも同じ結末へと進みます。

1. ユダの国が5 2年間ひとりの王によって統治されている間、イスラエルの国はどうか (8 ~ 22 節)？ 何人の王がたちましたか？
2. 20 節の「銀50シェケル」は、奴隷一人の値段です。彼らはアッシリアの奴隷になったも当然でした。統治者たちは私欲と野心に満ち、王位を巡って争い、国は不安定でした。彼らは自分たちの好きなように生きていましたが、決して自由ではなく、平安ではありませんでした。神様に礼拝を捧げ、キリストの救いを確信し、自由で平安な日々を過ごしているだろうか？

29 日 (木) 列王記第二 16 章

1. ユダの王アハズはどのような王でしたか (1 ~ 4 節)？ それに対して神様はどのように対応していましたか (15 : 37)？ アハズは、アッシリア王に何と言いましたか (7 ~ 9 節、15 章でイスラエル王国はすでにアッシリアの従国でした)？
2. 彼らは、完全にこの世の強い者に頼っていて、全知全能の神様を見失っていたようです。そのことがわかる箇所はどこですか (18 節)？ だれをおそれているのだろうか？

30 日 (金) 列王記第二 17 : 1 ~ 23

1. イスラエル王国はアッシリアの捕虜となります。なぜですか (8 節)？
2. 彼らはどのように神様に嫌われることをしましたか (9 節)？ それに対する神様からのチャンスはどのようなものでしたか (13 ~ 23 節)？ イエス様の救いによって、いのちの書に記してもらったにもかかわらず、密かにこの世に妥協している生活部分はないだろうか？ それをどう悔い改めればよいだろうか？

31 日 (土) 列王記第二 17 : 24 ~ 41

28 ~ 41 節で書かれている事が理由で、イエスの時代にユダヤ人がサマリア人を差別していました。しかし、この箇所はサマリア人にレッテルを貼るものではなく、神様に背き、神様の教えとこの世の教えや風習を混合してはならないことを教えています。

1. サマリアは悔い改めるチャンスがありましたが (24 ~ 27 節) 彼らはどうしましたか (29、33 節)？
2. サマリアに住む人たちがどのような人たちであったと書かれていますか (34 ~ 41 節)？ 神様の恵みを覚え、感謝し畏れ、生活しているだろうか？ 今日告白し改める古い習慣はないだろうか？